

「名柄小中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	宇検村立名柄小中学校
2. 学年・人数	全児童生徒 14人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月13日 名柄小中学校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月29日 名柄小中学校運動場（運動会）
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 八月踊り（はちがつおどり） (2) 由 来 古来から伝わる伝統的な踊りで、先祖に感謝し、五穀豊穡、集落の繁栄を祈念する祭りで、旧暦8月の祭事に奄美の各集落で踊られている。 (3) 構成等 チジンという太鼓に合わせて集落の男女が輪になり唄って踊る。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	集落では老人会を中心に勉強会・練習会が行われ、学校では運動会前に体育の授業や総合的な学習の時間に老人会に指導してもらい、練習に取り組んだ。運動会当日は最後の種目として、児童生徒、職員、保護者、集落民全員が参加して踊り、場を盛り上げた。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 運動会での様子  老人会による指導の様子
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 - 最初は難しくて練習ではうまく踊れなかったけれど、老人会の人にわかりやすく指導してもらい、運動会の日は大鼓に合わせてみんなで踊ることができて楽しかった。 【教職員】 - 地域の方と連携し、授業や行事を通して伝統芸能の継承につながる取組ができて良かった。郷土の伝統や子どもたちを大切にする地域の方の思いを知ることができて良かった。 【老人会】 - 指導を通して子どもたちの笑顔に元気をもらった。八月踊りを受け継いでほしい。